

せいかつか

SEIKATSUKA EDUCATION

第 6 号

1999

21世紀に生きる生活科の創造

宇都宮大学教授 奥井 智久



教育課程審議会の答申が公表され、21世紀初頭のわが国の学校教育の方向が定まり、いよいよ各学校が自らの創意工夫により個性的な学校経営を進める段階に入ってきた。周知のように、約10年ごとに行われる教育課程の基準の改訂では、その時代の学校教育をリードするキーワードが提唱され、今回は「生きる力」がそれになっている。生活科は、本来生きる力を育てる（自立への基礎を養う）ことを目標としており、今度の改訂では生活科の精神が全教育課程の基本に据えられたと言うことができよう。

ところで、これからの教育課程を構成する基本的視点として、筆者は複合的観点・方略をもつことを勧めたいと考える。従来の学校教育課程は、各教科・道徳・特別活動の三本柱を中軸として構成されてきた。これにたいして、これからの学校では各教科等の分科・分立教育と環境・国際・情報・福祉・ボランティア・フィールドワークなどの複合的・総合的教育を並列してカリキュラムが構成されることになる。

そのためには、これまで生活科が果たしてきた考え方と実践、教職員等の経験が極めて有効に働くと考えられる。生活科は子ども自身、子どもと社会、子どもと自然の相互のかかわりをつくり、かかわりを広げつつ、子どもが主体的に取り組む総合的な学習を進めてきた。次期教育課程の中で、小学生第3学年以上に新設される「総合的な学習の時間」は、教科単独の学習ではカバーできない対象・内容を取り扱い、複合的・総合的に地域の専門家等の支援・協力を得ながら学習を進めることになっている。

「総合的な学習」の低学年部分の分担する生活科もまた、従来の学習活動にとどまらず、外国語会話や情報、福祉などの内容を加えて年間計画を修正・発展させ、総合学習の性格を従来以上に拡大する研究と工夫が要請されることになろう。この点について、誤解を恐れず敢えて具体例を提案すると、例えば「世界の人々とお正月」というような単元を構成し、インターネットを活用して電子メールによりALTなどの支援を受けながらクリスマスカードを交換したり、世界各国のお正月の様子を紹介し合ったりするのは、一つの事例となろう。今後このような新指導要領に基づく新単元・学習活動の開発が活発化することを大いに期待している。

目次

◆21世紀に生きる生活科の創造	奥井智久	1
-----------------	------	---

特集Ⅰ これからの生活科

◆総合的学習の基礎・基本としての生活科 ー「識る子」を育てようー	新富康央	4
◆心が動いたときの気持ちを共感して受け留めること ー心が動き、気持ちを語れる子どもを育てる支援ー	藤井千春	10
◆生活科における体験新プランについての一考察	池野 悟	16
◆子どもとともに合科・関連 ー学びと育ちの一体化をめざしてー	中村美和子	22

特集Ⅱ 幼児教育から生活科・総合へ

◆よりよい幼・小連携を探る ー園児・児童の育ちを願ってー	田山文江・宮戸てるみ・吉田眞之介	28
◆幼児教育から生活科・総合へ	加茂川くるみ・宇留野美恵子	34
◆生活科を軸にした幼保小教育連携のあり方 ー自分の内面の成長を自覚できる子供たちの育成を目指してー	桑原正子・池田美也子	40
◆幼児教育から生活科、総合学習への課題 ー幼・小間での相互理解、連携、発展を考えるー	布谷光俊	46

特集Ⅲ 生活科から「総合」への可能性を考える

◆生活科の見直しと総合への可能性	無藤 隆	52
◆生活科は総合的な学習に何を提供するか	寺尾 慎一	58
◆生活科から、総合への可能性を考える	和田 信行	64
◆生活科から、総合性への可能性を考える	古田 和子	70

自由稿

■生活科の発展としての総合的な学習の構想 ー小学校中・高学年への生活科の創設ー	笠原 始	76
--	------	----

■ 他教科との関連を図った指導の工夫……………	若手三喜雄・杉江順子・伊東由美子	84
―子どもの意識の流れに沿った支援の在り方―	岩切美樹・野田みつ子	
■ 豊かな体験を育む地域素材の教材化……………	森 里 美	92
―「21世紀の森と広場」における探検活動を通して―		
■ 生活科教育における「総合」化の検討……………	杉 浦 英 樹	100
―平成8・9年度文部省生活科教育推進校の実践を中心に―		
■ 自分と家庭の人々とのかかわりを主題にした絵本と小学校生活科学習との関連性……………	高 橋 俊 之	108
―先行体験としての幼稚園教育における絵本環境(2)―	木内菜保子	

新しい授業の試み

■ 「自立への基礎」へ直結する「追究学習」……………	松 本 謙 一	116
―新しい学習指導法の提案―		
■ 地域の自然と人々との触れ合いを生かした生活科……………	春 木 祥 子	120
―米作り活動を通して―		
■ 羊とすごした1年半……………	阿 部 勉	123
―長期動物飼育で子供が得たもの―		

◎海外事情報告

■ イギリスの小学校におけるトピックワーク……………	溝辺和成・野上智行	126
----------------------------	-----------	-----

日本生活科教育学会会則……………	133
学会だより……………	134
機関誌編集委員会投稿及び編集規定……………	135
編集後記……………	136

